

今回は、「よくある社員の間違い行動」という小冊子からです。

月末(×日)が近づかないとやる気がでない…

普段は今ひとつやる気が出ないのに、月末や×日が近づくと、急に動き出す人がいる。あなたのやる気は安定しているだろうか？安定していない人には、大きく分けて 2 つの原因があるような気がする。

1 つ目の原因は、それは仕方のないことだとあきらめていることである。逆に、月初は月末の疲れを回復して、中旬はプライベートを楽しんで、月末は残業。例えば、そんな流れに何も疑問や問題を感じていないのである。それが自分の仕事のリズムだ！と勝手に思い込んでいる人さえいる。

本当にそうなのだろうか？仕事に慣れてきて、ダレてしまっているだけではないだろうか？「慣れ」「ダレ」は非常に仲がいい。注意してほしい。そんなことを言うと、必ず「そんなこと言ったって、こうこうなんです。それでもなんとかなるって言うんですか？」と反論してくる人が多い。そういう人には、3 つの視点が抜けている。

1 つ目の視点は、100%解決しようとしていることである。20%解決する方法でなく、100%解決することを考えているから前に進まない。20%解決して初めて、残りの 80%への取り組み方法が見えてくることは良くあることだ。2 つ目の視点は、周囲に協力してもらうことだ。自分一人では進まない改善も多い。上司・同僚・他部門に協力してもらえるスキルを磨くことだ。3 つ目の視点は、それを改善することがあなたの存在価値であるということだ。ただ与えられた仕事をしてだけなら、あなたでなくてもできる人はたくさんいる。

2 つ目の原因は、月末や×日がくるまで、今日やるべきことを明日に引き延ばし続けているということである。月末が納期だとしたら、1 週目にはここまで終わっていけない。2 週目にはここまで終わってなければいけない、そんな途中目標があるはずだ。それがぼんやりしているから、疲れたり、いやなことがあったり、気が乗らなかったり、飲みに誘われたりすると、ついつい明日、あさってと積み残し仕事が増えていく。そして月末が近づくと、あとあとに積み残した仕事と格闘することになる。

人間は追われて仕事をしていても成長しない。時間に余裕がないと、やっつけ仕事になってしまい改善・工夫しようという気が起きない。心に余裕がないと、仕事を片付けるのに精一杯で、その経験から学ぶべきことを見落としてしまう。

そんな悪循環にあなたは陥っていないだろうか？

やる気が安定していない人は、大きく分けると原因はなんだと言っていますか？

()

()

「そんなこと言ったって、こうこうなんです。それでもなんとかなるって言うんですか？」と反論してくる人が多い。そういう人には、3 つの視点が抜けていると言っていますがその 3 つは何ですか？

()

()

()